

令和 6 年第 7 回 鋸南町議会定例会議事日程〔総括表〕

令和 6 年 1 2 月定例会

日 程 第 1	会議録署名議員の指名	
日 程 第 2	会期の決定	
日 程 第 3	諸般の報告	
日 程 第 4	一般質問〔8名〕	
	①	4 番 柴 本 健 二 議員
	②	2 番 篠 宮 真 樹 議員
	③	3 番 中 村 基 議員
	④	8 番 竹 田 和 明 議員
	⑤	1 番 東 愛 乃 議員
	⑥	7 番 早 川 正 也 議員
	⑦	9 番 大 塚 昇 議員
	⑧	6 番 笹生あすか 議員
日 程 第 5	議 案 第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 6 年度 鋸南町一般会計補正予算（第 3 号）について）
日 程 第 6	議 案 第 2 号	専決処分の承認を求めることについて（令和 6 年度 鋸南病院事業会計補正予算（第 2 号）について
日 程 第 7	議 案 第 3 号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を 改正する条例の制定について
日 程 第 8	議 案 第 4 号	第 1 号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手 当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 の制定について
日 程 第 9	議 案 第 5 号	鋸南町特別職の給与及び旅費に関する条例の一部を 改正する条例の制定について
日 程 第 1 0	議 案 第 6 号	一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正す る条例の制定について
日 程 第 1 1	議 案 第 7 号	第 2 号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部 を改正する条例の制定
日 程 第 1 2	議 案 第 8 号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体 の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合同規約の変 更に関する協議について
日 程 第 1 3	議 案 第 9 号	南房総広域水道企業団規約の変更に関する協議につ いて

日程第 1 4	議案第 1 0 号	人権擁護委員候補者の推薦について
日程第 1 5	議案第 1 1 号	令和 6 年度鋸南町一般会計補正予算（第 4 号）について
日程第 1 6	議案第 1 2 号	令和 6 年度鋸南町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）について
日程第 1 7	議案第 1 3 号	令和 6 年度鋸南町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について
日程第 1 8	議案第 1 4 号	令和 6 年度鋸南町水道事業会計補正予算（第 2 号）について

令和 6 年 第 7 回 鋸南町 議会 定例会 会期 日程表（案）

自 1 2 月 1 6 日（月） 至 1 2 月 2 0 日（金）

会 期	月 日	曜 日	時 間	説 明
第 1 日	1 2 月 1 6 日	月	午前 1 0 時	開 会 会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、 一般質問 4 名 散 会
第 2 日	1 2 月 1 7 日	火		休会（議案調査のため）
第 3 日	1 2 月 1 8 日	水	午前 1 0 時	開 議 一般質問 4 名 散 会
第 4 日	1 2 月 1 9 日	木		休会（議案調査のため）
第 5 日	1 2 月 2 0 日	金	午前 1 0 時	開 議 議案第 1 号から議案第 1 4 号の上程、説明、質疑、 討論、採決 閉 会

一 般 質 問 一 覧 表

令和 6 年第 7 回 鋸南町議会定例会

通告順	質 問 要 旨	質 問 者	答 弁 者
1	1. 遊休農地について 農業者の高齢化や後継者不足が進み、ここ何年かの間に、耕作条件の悪い農地のみならず、比較的条件のよい平坦な農地においても、適正に管理されずに放置された遊休農地が目につくようになってきました。 これらの農地をこのまま放置し、何の対策もとらないとなると、周辺農地への雑草や病害虫による被害や産業廃棄物の不法投棄、更には、野生動物の活動の範囲を広げ、一層の鳥獣被害を招く恐れがあります。 いま私は、竜島地区で日々農業に従事しています。竜島地区はほぼ平坦な農地で概ね 25 ヘクタールと聞いていますが、少しずつではありますが遊休農地が発生しています。 竜島地区の、現在の農業従事者は、約 30 名で、そのうち 70 歳以上が 20 名、残りの 10 名も 50 歳以上と、若い後継者は一人もいないのが現状です。 そこで質問します。 ① 当町の農業従事者は何名いますか。 ② 当町の遊休農地の状況はどうか。 ③ 遊休農地を増やさない対策をどのようにお考えですか。 2. 農業の地域計画について 令和 6 年 10 月に農地の利用意向等を把握する	柴 本 健 二	町 長
			町 長

	ための地域農業の将来に関するアンケートに関し、地域農業の将来像を描く「地域計画」の策定を推進することは、とても興味深いと思われますが、詳細について質問します。 ① 令和7年3月末までに、10区分の地域ごとの話し合いを通じて「地域計画」を個人情報に配慮し統計処理して策定するとありますが、期間が短く、期日までに完了するのかという懸念があります。策定のスケジュールはいかがか。 ② 農業経営の展望（拡大・縮小・離農）について、10年にわたり調査されていますが、農業従事者の高齢化を考慮すると身体の不調・鳥獣被害など環境の悪化により、展望どおりになりにくいと考えますがいかがか。 3. 地域おこし協力隊について 地域おこし協力隊は、過疎や高齢化が進む当町において地域の活性化にとっても有意義と思われますが、次のことを質問します。 ① 当町の隊員の受け入れは何年から行い、現在、何名の方が従事しているのか。また、今後の見込みはいかがか。 ② 隊員の任期終了後の当町への定住・定着率はどうか。また、町が期待している効果が達成されているか。 ③ 隊員向けの研修会の実施・相談窓口の開設等の当町のサポート体制は充実しているのか。		町 長
2	1. 海を活用した観光施策について 鋸南町には美しい自然が残る海岸線が広がっており、夏の海水浴や釣り、SUP などのマリンスポ	篠 宮 真 樹	町 長

	ーツやレジャーを楽しむには最適な場所だと思います。 毎年夏の海水浴シーズンに鋸南町に訪れる海水浴客も約2万人位となっています。 しかし、かつては夏になれば海岸や商店街に人が溢れかえっていてすごい賑わいだったと聞きます。 それが今ではお盆休み期間中も商店街は夜の8時を過ぎれば歩いている人も殆どいない状況になってしまっています。 そこで、海水浴客の減少や砂浜の減少海のレジャーについて質問したいと思います。 ① 全盛期と比べると夏の海水浴客の減少が著しいが、現状をどのように考え、今後の施策に考えはあるか。 ② 保田第一海岸をはじめ、砂浜が消滅しつつあるが、どのように考えているか。 ③ 最近、千葉県内の漁港が漁業者と釣り人とのトラブルなどから釣り禁止となった漁港が増えている。鋸南町の漁港での現状はどうか。また、町として対策は考えているか。		
3	1. 河川の氾濫防止対策実施に向けて 令和6年6月28日集中豪雨による佐久間川氾濫に端を発して、9月議会で、鋸南町全2級河川を対象に、7つの氾濫防止策を提案しました。 その結果、町行政の速やかな対応で、安房土木事務所による現場視察となり、主要な提案の実行に向け、大筋で合意が得られました。 では次に、町行政は今後、県に具体的にどう動いて頂くようリード・サポートするか、その際の	中 村 基	町 長

	急所と課題は何か、そして私たち住民がなすべきことは何か、についての見解をお伺いします。 2. 地域公共交通について 高齢化に伴う歩行能力の低下と、免許返納が進む中、高齢者の外出手段確保の為、R5年度後半より、従来の循環バスと併用して1年間、オンデマンド制の実験導入を行いました。 ここから見えてきた課題も踏まえて、当町での目指すべき交通体系のあり方、及び今速やかに充実させるべきサービスレベルは何か、をお伺いします。 3. 笑楽の湯の運営について 開業より26年、町内外の来場者数も月2千人にのぼり、演習にきた自衛隊の方々にも愛用され、インターネットの口コミ上では、シーズン通した竹林・小川のせせらぎや、春には満開の桜を、開放感のある窓から眺めて入浴できる隠れ家的な温泉との評価を頂いています。 以降、家族風呂新設や施設内の改修にも取り組み、集客数の拡大と、地域雇用の確保、地元住民へのコミュニケーションの場の提供と、町外客のみならず、町民にとっても有用な施設となっています。 一方、厳しい収支である事も事実で、当施設のあり方と方向性を、どのように考え経営していかれますか？ 又、今回営業時間延長の実験を行おうとする背景と進め方についても、併せてお伺いします。		町 長 町 長
--	---	--	-----------------------

4	1. 佐久間小学校の跡地利用計画について 佐久間小学校跡地利用については、住民アンケートが実施されている。住民の意見を聞いたうえで計画を作成し、それを実行していくとの説明がされてきた。アンケートから相当の月数が経過した現在、計画の作成はどこまで進展しているのか。その進捗状況および内容を確認したい。 ① アンケートを実施した成果は何か。どのようなことがわかったか。 ② 計画は完成しているのか。またはどこまで進んでいるのか。具体的な内容は。 2. 地域の防犯対策について 闇バイトによる犯罪が急増し社会問題となっている。当町は観光客等不特定多数の来訪があり、防犯システムの構築、維持、点検が必要だ。また災害時などの体制も視野に、高齢者、女性、子供など弱者を確実に護るための、安全安心の町づくりが急務だ。 ① 犯罪を抑止するためには、地域の連携が特に重要だ。国・県・警察と町、町と行政区、また行政区における移住者と地元との連携強化と情報共有、ネットワーク化の現状は。 ② 児童生徒への安全教育、学校関係者の安全管理は万全か。空家や雑草による視界不良、夜間の照明など、通学路の安全確保はできているか。 ③ 防犯カメラの設置することは、手軽で犯罪の抑止効果も高い。設置場所を行政区で検討し、その指定する場所に町が設置することは	竹田 和 明	町 長

	できないか。また個人宅に設置する場合の費用の助成を行うことはできないか。		
5	1. 持続可能な鋸南町への転換について 2021年5月、農林水産省は「みどりの食料システム戦略」と策定しました。 「みどり戦略」は、自然環境を守りながら持続可能な地域づくりを進める取り組みです。気候変動への対応や資源循環型社会の構築を目指し、環境保全、地域経済の活性化、住民参加型の取り組みを柱としています。 具体的には2050年までに化学農薬の使用量を50%低減、輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減、耕作面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%に拡大するという数値目標を設定しています。この戦略を基盤に、町の未来を見据えた具体的な政策を進めるべきではないでしょうか。 そこで3点質問します。 ① みどりの食料システム戦略への取組み状況はどうか。 ② 現在、みどり戦略の実施における課題は何ですか。 ③ 町として、住民を巻き込んでいくための施策は計画されていますか。 2. 災害時の生活用水確保について 昨年、能登半島地震では水の不足、とりわけ生活用水の確保が大きな課題となりました。 飲料水については比較的早期に供給が整いましたが、生活用水（手洗いやシャワー、洗濯に必要な	東 愛 乃	町 長

	水)が不足している状況が続き、避難生活者の日常生活や衛生環境に深刻な影響を与えました。 また生活用水確保のための新しい技術や設備の導入も課題として浮かび上がりました。 本町においても同様な災害が発生した場合に備え、以下の点について町の現状と今後の対応をお聞きます。 ① 生活用水の備蓄体制 飲料水の備蓄は一定程度進んでいるかと思いますが、生活用水の確保にむけた具体的な計画はありますか。また、住民への周知や啓発活動はどのように行っていますか。 ② 災害時の代替水源の整備 井戸水や雨水利用、再生水システムの導入といった取り組みは進んでいますか。 ③ 避難所における水の利用環境の整備 避難所で使用可能な移動型浄水装置や簡易シャワー、手洗いの設備確保について、町はどのような対応を進めていますか。 ④ 他の自治体の事例の活用 能登半島地震で用いられた「WOTA BOX」や赤十字社の生活用水提供の取り組みを参考に、本町でも新技術や設備の導入を検討していますか。		
6	1. 防災・減災について、各地区での対策はどう考えているか 鋸南町では、令和元年の被災から5年が経ちました、過去のことを思い出したくない方もいると思いますが、当時の経験を基に防災・減災に取り組むことは重要だと思います、	早川正也	町長

	その後町では、令和3年防災計画が改訂され、これを基に防災・減災に努めてきているところだと思います。 令和6年は、元日に石川県西方沖を震源とする令和6年能登半島地震があり、関東では千葉県東方沖や茨城県南部や首都圏周辺を震源とする地震も多発しています。災害はいつどこで起きてもおかしくありません。特に東海沖や南海トラフ地震など、鋸南町に大きな影響があると思われる震災は報道の通りです。 震災以外にも、異常気象の影響か、局地的な豪雨災害、竜巻などの風による災害などに対し常に備える必要があると考えます。 そこで次の6点について質問します。 ① 令和元年の災害を生かした対策はできているのか。 ② 町では海岸地区、平野地区、中山間地区、山間地区と様々な住環境があるがそれぞれについて対策があるか。 ③ 総合防災訓練の結果と分析についてどうか。 ④ 自主防災組織の現状とこれからの在り方についてどう考えるか。 ⑤ 鋸南町と防災協定を結んでいる団体等の現状はどうか。 ⑥ 鋸南町消防団の現状と今後の在り方についてどうか。		
7	1. 行旅病人への対応及び行旅死亡人等の火葬・埋葬について 最近、行旅死亡人等の火葬・埋葬に苦慮している自治体が多い旨が、新聞等で報道されている。 死亡者の身元がわからない、または、身元がわ	大塚 昇	町 長

	かっていても引取り手がない遺体は、死亡地の市町村が、行旅病人及び行旅死亡人取扱法（鋸南町同問扱規則）・墓地埋葬法・生活保護法に基づき、火葬・埋葬する規定であるが、当町行政の取り扱いの現状について質問する。 ① 行旅病人への救護・留置救護の対応について、最近の状況は。 ② 最近の行旅死亡人等について、病院や警察から連絡を受けて、火葬までに日数を要する現状及び身元引受人の捜索に期間を要したケース等の現状はどうか。 ③ 当該遺骨の埋葬納骨を行う墓地の寺は、どのように選定されているのか、また実施状況はどうか。 ④ 外国人の行旅死亡人等があった実績はあるか、またその場合の対応は。 ⑤ 生活保護法に基づく制度は国・県の所管であるが、当町の葬祭扶助を利用したケースの状況とその基準支給額はどの程度か。 ⑥ 今後の推移予測と現状システムで想定される課題は何か。		
8	1. 介護難民問題について 「介護難民」とは、介護が必要な人が適切なサービスを受けられない状況にある人をいいます。 2025年は、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる「2025年問題」が起こると言われ、町も第9期介護保険事業計画の中にもあるように、以前から介護予防に力を入れるなど対策を続けてきています。 しかしながら、2024年度の介護報酬改定で	笹生あすか	町 長

	訪問介護の基本報酬が２％以上引き下げられるなどが影響し、１１月１日までに倒産した介護事業者は全国で過去最多となっています。 そこで、４点質問します。 ① 介護難民問題について、町はどう考えるか。 ② 町内の介護事業者の現状を町はどう認識し、どう考えているか。 ③ 医療と介護の連携は不可欠だ。鋸南病院で地域包括ケア病床の運営を開始したが、経緯と現状はどうか。 ④ 介護支援専門員(ケアマネジャー)の処遇改善や、訪問介護事業所への給付金など、町独自の支援が必要と考えるがどうか。 ２．災害対策について ８月に「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表されました。また、２０１９年の台風災害から丸５年が経ちました。今年も全国各地で様々な災害が起こっています。 猛暑の中、避難所にエアコンが整備されていない問題が、改めて浮かび上がっています。千葉市では、学校体育館に冷暖房整備をする動きが進んでいます。 そこで、３点質問します。 ① 鋸南町地域防災計画見直しの進捗状況はどうか。 ② 耐震シェルターについて、町はどう認識しているか。 ③ 学校体育館の断熱性能の現状はどうか。また冷暖房設備の整備が必要と考えるがどうか。		町 長
--	--	--	-----

--	--	--	--